

児童企画の川清掃活動を住民に発信、地域ぐるみで清流取り戻す

環境大臣賞 石川県 七尾市立小丸山小学校

七尾市の中心市街地を流れながら七尾湾に注ぐ御祓（みそぎ）川。十数年前は、県下一のドブ川と呼ばれ異臭を放っていたが、ヘドロ除去など地域の努力によって、水質が徐々に改善してきた。そんな御祓川を校区に持つ同校では、2009年から地域と連携して川の定点で水質調査を実施、川清掃活動を企画し住民に参加を呼びかけている。

まずは川の現状を把握するために、主に6年生児童は、行政の協力を得て上流と中流、下流に出向き、棲息する生き物を調査。上流や中流にはきれいな川に棲むサワガニなどが見られたのに対し、下流に行くに従いペットボトルや空き缶などが目立ち、汚い環境に棲むアメリカザリガニがいることがわかった。さらに、地元企業に川へ寄せる思いや歴史を聞いた児童は、地域で開催されるさまざまな環境保全活動に参加。公民館主催の川清掃活動や、地元の祭り「御祓川まつり」で水質調査の結果を発表するなど積極的に参画する。

こうした取り組みを通じて、「今度は自分たちができることを企画しよう！」との思いが生まれ、「御祓川クリーン大作戦」を開始。下流域に散乱する資源ごみを回収分別する活動で、住民にも協力を募る手作りチラシを700枚近く配布した。ところが、当日参加した住民はたったの10人。児童は奮起し、参加者が増えるための広報活動を展開。ポスターを川沿いに掲示する他、御祓川新聞を作って町会長に配布依頼したり、駅などに設置したりして広くPRしている。最近では、川に対する認知度が低い20～40代向けに、フェイスブックでも発信。

御祓公民館の佐々木敬子主事は、「児童と住民が協力して行う美化活動は、掃除にとどまらず貴重なふれあいの場になっているので、公民館もさらに協力していきたい」と決意を新たにしている。

その昔、泳げるくらいきれいだったという御祓川。その日が来ることを願って6年生は、ふるさとへの思いがつまったバトンを5年生にしっかりと手渡し卒業していく。

石川県七尾市立小丸山（こまるやま）小学校

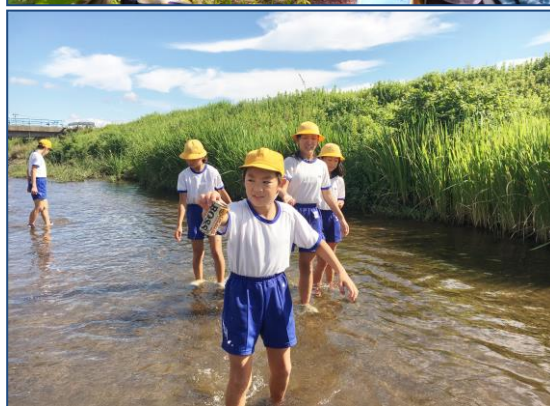
学校長：八崎（はっさき） 和美

児童数：364名(2016年11月末現在)

住所：石川県七尾市小島町チ部3

電話：0767-52-5432

アクセス：JR「七尾」駅からタクシーで約5分



写真上：川の上流で水質調査に挑む、上から2番目：御祓川クリーン大作戦で散乱する空き缶を回収、上から3番目：地域行事で手作りの環境新聞を住民に配布、下：今まで取り組んできた活動を後輩に引き継ぐ